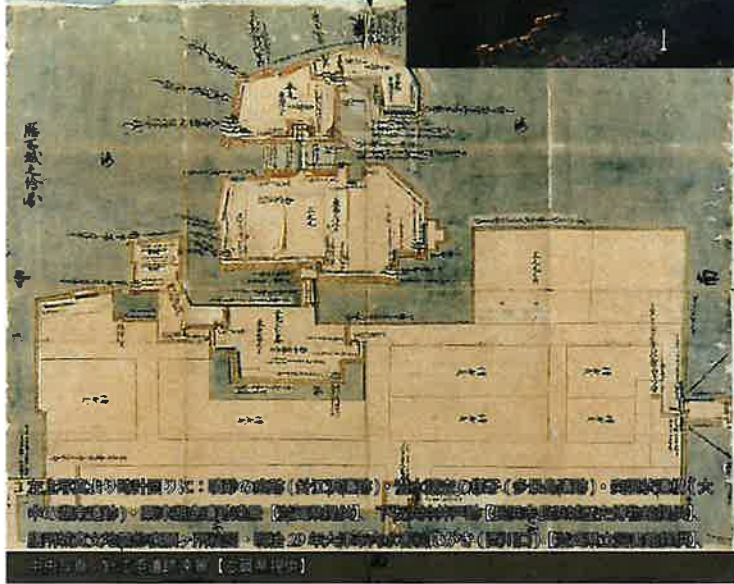


令和8年度 琵琶湖に眠る水中遺跡魅力発掘・発信事業

琵琶湖に沈んだ湖底の村 ～琵琶湖の災害を考える～



■□ 趣 旨 □■

これまで、滋賀県における災害の研究は、考古学・文献史学・地質学など多様な側面から研究が進められてきました。特に米原市域では琵琶湖朝妻沖において、米原市と中川永氏、京都大学防災研究所が連携して、学際的に災害と湖底遺跡について調査・研究を進めている状況です。

そこで今年度は、琵琶湖の千軒伝承と災害に注目したシンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、日本列島の災害から琵琶湖の災害、特に地震について俯瞰するとともに、湖北湖岸地域に残る千軒伝承を最新の湖底地形測量の成果から検討を行い、琵琶湖の災害について見つめ直す機会にしたいと考えています。

申込不要/無料

【基調講演】 13:10~14:00

「水中遺跡の可能性とその意義～水中考古学の視点から見た防災～」

講師：文化庁 文化資源政策・記念物課 文化財調査官 長直信 氏

【事例紹介】 14:00~15:40 (各30分)

「埋蔵文化財から見えてくる過去の災害 ～滋賀県を中心として～」

講師：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター 主任研究員 村田泰輔 氏

「琵琶湖に沈んだ湖底の村 ～湖北の千軒伝承遺跡～」

講師：豊橋市美術博物館 学芸員 中川永 氏

「琵琶湖湖底地形の詳細測量調査からみた地すべりの痕跡」

講師：京都大学防災研究所 徳島地すべり観測所 准教授 山崎新太郎 氏

【トークセッション】 15:50~16:40

「琵琶湖に沈んだ湖底の村 ～琵琶湖の災害を考える～」

パネラー：長氏、村田氏、中川氏、山崎氏 (司会：小野千穂 氏)

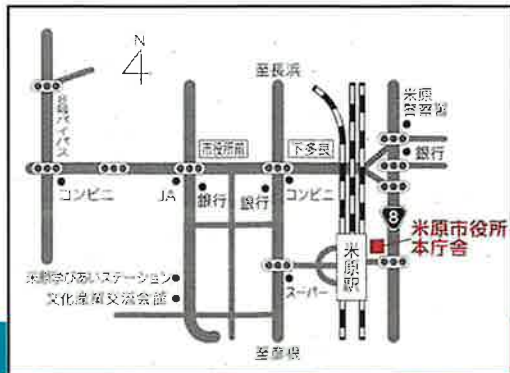
主催：滋賀県・米原市教育委員会 後援：中日新聞社

問合せ先：生涯学習課 tel0749-53-5154 fax0749-53-5129

e-mail: rekishi@city.maibara.lg.jp

2026 7.20 (月・祝)

13時から16時40分まで(12時から受付)



会場：米原市役所本庁舎 コンベンションホール
(JR米原駅東口 米原市米原1016番地)

